

「人の作ったものを大切にする」

あき子さんの^こ学級で、^{がっきゅう}作文を書く^{さくぶん}宿題^{か しゅくだい}が出ました。あき子さんは、^{さくぶん}作文を書くのがあまりとくいではなく、どうしても書くことができなかった^かので、^{しんぶん}新聞にのっていた^{さくぶん}作文をうつして^{せんせい}先生に^{しゅつ}てい出しました。

何日かすると、^{せんせい}先生に、「この^{まえ}前の^{しゅくだい}宿題の^{さくぶん}作文がとてもよく書けていたので、コンクールに出すことになりました。」と^い言われました。

あき子さんは、こまってしまいました。そして次の日、^{せんせい}先生に^{ほんとう}本当のことを^い言い^いに行きました。



かんが
【考えてみよう】

① なぜ、あき子さんはこまってしまったのでしょうか？

② もし、自分がいっしょうけんめい作ったものを、他の人が勝手に使っていたら、どんな気持ちになりますか？

いえ ひと はな あ
【家の人と話し合ってみましょう】

自分のものも、人のものも大切にするためには、日ごろからどうすればよいか家の人と話し合ってみましょう。

★おうちの方へ

話し合う際には次ページの「保護者の皆さんへ」を参考にしてください。

先生の印